

施設名	展覧会・イベント	日時・場所	費用・定員・申し込み
貞享義民記念館 Tel77-7550	楡フォトクラブ写真展	日7月9日(火)～15日(月・祝) 場1階企画展示室	費無料
	信州ゆかりの作家展	日7月21日(日)～8月15日(木) 場1階企画展示室	費無料
安曇野高橋節郎 記念美術館 Tel81-3030	夏季ワークショップ 『手描き友禅の色挿し体験』 関古根香さん	日7月13日(土) 13:00～16:30 場本館内メディアフォーラム	費2500円 定8人(先着順) 申6月26日(水)から電話で
	夏季ワークショップ 『七宝アクセサリーづくり』 関向山伊保江さん	日7月21日(日) 13:00～16:30 場本館内メディアフォーラム	費2000円 定8人(先着順) 申6月26日(水)から電話で
	夏季ワークショップ 金工体験 シルバーリングづくり 関松木光治さん	日8月4日(日) 13:00～16:30 場本館内メディアフォーラム	費2000円 定10人(先着順) 申6月26日(水)から電話で
安曇野市文書館 Tel71-5123 Fax71-5127 ✉bunshokan@city. azumino.nagano.jp	講座「文書等からひもとくお宮あれこれ」 関西澤洋明さん(「下鳥羽の古文書を読 む会」代表)	日7月21日(日) 13:30～15:00(開場13:00) 場堀金公民館講堂	費無料 定100人(先着順) 申6月24日(月)から電話、ファクス、 電子メールのいずれかで

■休館日、開館時間などは各施設へお問合せください

こどもとおとなの〈かたち×あそび〉講座(全3回) 第1回 描いて、たらし、滲ませて!大きな紙に思いっきり描こう!



墨汁を使って、大きな紙に自由に絵を描きます。完成後は、作品の中から
お気に入りの1枚を館に展示します。

日7月28日(日) ①10:00～②13:30～

場貞享義民記念館前広場 関記念館職員

費500円 定10人(先着順)※小学3年生以下は保護者同伴

持汚れてもよい服装 申6月25日(火)から電話で

関貞享義民記念館 Tel77-7550



第23回 コラム 市誌編さんだより

政権を支えた馬飼・武人集団―安曇野の古墳

市誌編さん専門調査会考古部会
専門調査員 白居直之

市内には、6世紀末から8世紀までにつくられた古墳が約100基確認できます。いずれも横穴式の石室を持つ直径約20mの円墳で、複数の古墳がまとまった群集墳として分布しています。石室内からは、須恵器と言われる土器や装飾品のほか、直刀、鉄製の鍔などの武器、轡や鞍に使われた金具などの馬具が出土しています。これらの出土品から埋葬された人々が馬を飼っていたことが推察できます。戦国時代には、戦の際には武人となっていたことが推察できます。

出土品の中には、銀を装飾としてはめ込んだ大刀の金具(写真)や金銅製の馬具、冠飾り金具など十数点が含まれています。これらは稀少な金属製品であることから、大和政権が、地方集団との関係性を強化する政治的な道具として贈った物とみることができ



穂高古墳群B5号墳出土
須恵器、馬具、刀装具



ぞうがんそう た つかがしら
象嵌装大刀 柄頭

若手芸術家が安曇野に滞在

東京藝術大学 アーティスト・イン・レジデンス 安曇野AIR開催

ARTIST INTERVIEW

陶芸
漆芸

めのだしょうこ
布下 翔基さん

1990年(広島県三原市)生まれ。
2022年東京藝術大学大学院美術研究科
博士後期課程工芸研究領域(陶芸)修了。
やきものと漆の表現を融合し、新たな表現を展開
することで工芸の可能性
を広げている。



Q どのような作品を制作したいですか?

作品制作やワークショップを行いながら、安曇野に住む人の心の中にある大切にしたい“安曇野への思い”を形にし、未来へと伝え残していけるような制作を行ってみたいです。

Q 市民の皆さんへのメッセージ

まちの中でさまざまな工芸を展開していきます。楽しい時間を一緒に過ごしましょう!

漆芸

こばやし
小林 このみさん

1994年(千葉県市原市)生まれ。
2022年東京藝術大学大学院修士課程美術
研究科工芸専攻(漆芸)修了。
さまざまな技法を織り交ぜ、
漆芸に対する世間の見方を変え、漆芸の認知度を高め
ようと奮闘している。



Q どのような作品を制作したいですか?

「人との繋がり」を大切に、安曇野でしかできない経験や出会いで受けた感情を作品に込め、唯一無二の作品を制作したいです。

Q 市民の皆さんへのメッセージ

多くの市民の皆さんとお話したいので積極的に声をかけさせていただきます!安曇野の魅力たくさん教えてください!

漆芸

わかつき
若月 美南さん

1993年(新潟県新発田市)生まれ。
2021年東京藝術大学大学院修士課程美術
研究科工芸専攻(漆芸)修了。
人との営みの中で時間と
共に変化する漆の特性を
活かし、時を感じる斬新な
作品を制作している。



Q どのような作品を制作したいですか?

自然や安曇野の皆さんと交流する中で、“安曇野らしさ”を集め、漆が何層にも積層するように集めた“安曇野らしさ”を新しい作品として制作したいです。

Q 市民の皆さんへのメッセージ

私たちの滞在や展示が、皆さんの日常に少しでも楽しい変化になったらうれしいです。

中央図書館開館15周年記念講演会

本は読まないでダメですか?

―「本は読まなくてもいいかもしれない」から考える読書の力―

安曇野市出身で人類学者の磯野真穂さんに、学者としてまた自身の経験をふまえ、読書、本の力について語ります。※要約筆記つき

日7月14日(日) 14:00～16:00 場穂高交流学習センター「みらい」多目的交流ホール

講師磯野真穂さん(東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授) 費無料

定200人(応募者多数の場合、抽選)

申6月26日(水)から7月10日(水)までに各図書館へ直接・電話・ファクス・ながの電子申請サービスのいずれかで

関中央図書館 Tel84-0111 Fax84-0116

